～正しい使い方、捨て方を確認してください。～

２６年１月に入り山陰両県でスプレー缶の破裂による火災が相次いでいます。

１．はじめに

スプレー缶、カセットこんろ用ガスボンベ、殺虫剤、ヘアケア製品などのエアゾール製品等は、日常頻繁に使用されていますが、こういったエアゾール製品等には可燃性のガスが含まれており、取扱いを誤ると非常に危険であるということをご存知でしょうか。

２．どこが危険なのか

エアゾール製品等は、液状・粉状の内容物と一緒に、噴射剤として圧縮された可燃性ガスが充填されています。可燃性ガスは、火の気があれば引火して爆発燃焼する、非常に危険なガスです。

３．火災発生状況と火災事例

○取扱い不注意による火災の例

・石油ストーブの近くでスプレーを使用したため、可燃性ガスに引火・燃焼した。

・点火中のファンヒーターの前にスプレー缶を置いていたため、過熱により容器が破裂し噴出した可燃性ガスに引火・爆発燃焼した。

○廃棄方法による火災の例

・カセットこんろ用の使用済みガスボンベ数十本を廃棄するため、穴を開けてガス抜きをしている際に、滞留した可燃性ガスに引火・爆発燃焼した。

・中身が残ったままゴミとして出されたスプレー缶が、清掃車の収集処理で圧縮された際に容器が破裂し、金属同士の火花等で可燃性ガスに引火・爆発燃焼した。

４．エアゾール製品等の使用・廃棄上、注意することは？

これらの火災は、いずれも誤った使用方法や可燃性ガスの危険性を知らなかったことによるものです。以下の注意事項を必ず守ってください。

（１）火の気のある場所では使用しない。

（２）たき火・焼却火の中に投げ込まない。

（３）カセットこんろへボンベを装着する際は、確実にセットされていることを確認する。

（４）カセットこんろのボンベ収納部分を覆うような大きなサイズの調理器具（鍋・鉄板など）を使用しない。

（５）保管する場合は、火の気や暖房器具の近くなどの高温となる場所や、直射日光の当たる場所などを避ける。（車内にも置かないこと。）

（６）廃棄する際は、完全に使い切ってから（振っても音がしない状態）、屋外の風通しの良い火の気のない場所で缶に穴を開けて捨てる。（同一場所で大量に行わないこと。）

※廃棄する際のガス抜きでは、内容物の残量や換気の状況を十分に確認してください。